

四日市大学周辺の PFAS 汚染について

2024年9月

四日市大学・研究機構・環境技術研究所

発がん性が指摘される有機フッ素化合物（PFAS（ピーファス））が、各地の水道水や河川・井戸から検出されている。

PFAS は、1 万種類以上あるとされる有機フッ素化合物の総称で、広く使われてきたのが PFOA（ペルフルオロオクタン酸）と PFOS（ペルフルオロオクタンスルホン酸）である。

今回は、7 月下旬に近隣の河川水について調査した。

採水日は2024年7月28日早朝：



採水地点：富田山城道路の宇佐美がスタンド横

PFOA： 190 ng/L

PFOS： 0.4 ng/L



KIOXIA 旧棟からの排水：部田川へ

PFOA： 41 ng/L

PFOS： 0.9 ng/L

日本では、水道水の暫定目標値として、この2物質合計値が50ng/Lとしている。
アメリカの環境保護局(EPA)では、24年4月に飲み水の基準としてPFAS、PFOSそれぞれに4ng/L（合計すると8ng/L）という規制値を設定している。
環境省は、PFAS 合計について 100ng/L (PFOS 及び PFOA を含む 20 PFAS の濃度合算値) 及び 4 PFAS について 20ng/L (PFOS、PFOA、PFNA、PFHxS の濃度合算値) が規制値とされ、適用はそれぞれ 2026 年及び 2028 年からとされている。

NHK のクローズアップ現代 24 年 6 月によると、水道水の PFAS 状況図は以下：



群馬大学教授：鯉淵さん：

「先週、アメリカへ学会で行ってきたんですけども、アメリカで、実は検査結果が出まして、45%ぐらいの水道水から何らかの PFAS が検出されるという状況になっております。中央値が、だいたい 7 ナノグラムぐらいということですから、実は、規制値より上になっています。それが、「水道水はなるべく飲まないようにしましょう」、「フィルターをかけましょう」という形で、高濃度地域では、そういうような呼びかけが実際に行われておりました。」とのことである。

[illegible]

計量証明書

512-8512

住所

三重県四日市市萱生町1200番地

氏 名 四日市大学研究機構 環境技術研究所 様

第 27-C2403690-002 号

2024年08月20日

計量証明事業登録

三重県知事 濃 度 第 93号

三重県知事 音 圧 レベル 第104号

三重県知事 振動加速度レベル 第219号

一般財団法人 三重県環境保全推進団

理事長 森

三重県津市河芸

TEL<059>245-7508 FAX<059>245-7516

試料名称	河川水	採取日時	2024年07月28日 6時00分	
採取場所	部田川(海蔵川支流)		受付方法	持ち込み

(注) 受付方法が収集・持込・託送の場合、上記事項は、ご依頼者のお申し出により記入しました。

2024年08月05日 にご依頼のありました試料の計量の結果は、次のとおりです。

[illegible]